

平成27年度
専門学校静岡電子情報カレッジ29期生
静岡福祉医療専門学校17期生

の学生諸君

ご卒業おめでとう！

理事長・校長 中村 徹

平成27年度卒業生の皆さん、「卒業証書及び専門士の称号」授与おめでとうございます。

皆さんの本学入学は卒業だけを目指したわけではないのですから、学生生活の集大成として、皆さんのキャリアデザインを形にすることができましたか？ここが最終目標なのです。

皆さんは本学独自の専門職人材育成教育に、産業界や医療・福祉界、幼児教育・保育等の第一線の各業界人の指導も受け、**産学連携で実践的職業教育プログラムにより育成されたスペシャリスト**として社会へ旅立つところまできたのです。これからはしっかりと社会的責任を自覚し、社会評価を得て、本学の教えでもある**「仕事を通して自己実現」**を図り、プロフェッショナルとしてその道の達人を目指すのです。

さて、皆さんが旅立つこの現代社会は、国内を見ると、5年目を迎えた東日本大震災からの復興、少子高齢化のもとで人口減少に超高齢化、国の力といわれる生産年齢人口の減少、社会保障の抜本的改革、TPPの対応など、切羽詰まった真剣勝負が求められている。

本学園の創設者の教えにもある**「生かされていることの意味」**を自らに問いかけながら、**「今の困難」**を乗り越え、**「より良き未来」**を創造していくことで、復興、そして日本再生に向けて、力を注ぐ**我々には義務**があるのです。特に、可能性を秘めた若き皆さんには、今後、人間は自然の脅威にどのように向き合い、復興・再生にどのように寄与していくのか、そして困難なこの時代にそれぞれが自覚的に何をしていくのかが問いかけられているのです。

皆さんはこれまでの学校生活で、様々なことを学びかつ研究を行うことで、考えを深めるとともに、その考え方にも、解決のプロセスにも多様性があることを学んで来た。

今、我々が社会のためになる行動がとれるようになるには何が必要なのか？それは**『他人の視点でモノを見て、モノを考える』**ということだ。それにより自分自身をもっと知ることができると同時に、他人との連帯を築き上げ、社会的課題を解決することができるようになる。そして、より重要なのは、一人ひとりの視点がどれが正しいかを決めるのではなく、自分とは異なる他人の視点を認めるという**「多様性の価値観を共有すること」**なのです。

さて、本学の平成27年度において、総合福祉学科3年下田学生会会長等役員の学生諸君、学生自治会運営ありがとう。春・冬学生スポーツ大会、我道祭(学園祭)等大変楽しませてもらった。君たちも友人の和を広げ、友情を深めることができたはずだ。各イベントを企画・実行した苦勞、責任、**達成感や充実感**は必ずや今後の君たちの人生の中で活かされるよ。

就職活動においては、福祉はあと1名で就職内定率100%と創立以来17年間完全就職実績を継承しそうである。電子は未内定者があと数名いるが、創立以来28年間続いた就職決定率100%を目指し、最後まで諦めずに学校あげて頑張ろう！！

そして、学生生活の集大成：「建学の精神」の具現化となった「卒業研究発表会」・「ケアスタディ発表会」において、学年・学科を超越したコラボ制作に取り組み、新感覚のアニメーションとサウンドを融合したコンテンツ制作、スマートフォン・アプリ開発等、「時代に即した、将来に向けた研究テーマ」での立派なプレゼンテーションとドキュメントに来賓だけでなく教職員も感動した。今回得られた**達成感**は諸君の一生の宝物であり、この集大成は本学にとっても**財産**である。

また、本学の教育方針である『積極的な学外での活動』において、なかでもICT情報システム学科高橋卓也君等が**2016.2.26**コンペティション「シズオカアプリコンテスト Shizuoka App Awards」に子育て支援アプリ「しずっ子マップ」でエントリーして**優秀賞**を受賞！多くの困難を乗り越えての開発の成果で、大きな自信となったことでしょう。そして「**産学連携教育プログラム**」による活動として、FM 島田との連携によるオリジナルキャラ&HP制作、FMラジオ番組制作と15分間のONエア体験をさせていただいた。また別のプロジェクトでは「企業紹介プロモーションビデオ制作」と「YouTubeへの公開」、「ネットショップの立ち上げ」、「オフィシャルサイト制作」、「Facebookへの展開」等地元企業に大きく貢献。授業では体験できない貴重な経験に心から感謝です。

本学のもう一つの教育方針である『地域に開かれた専門学校』の活動として、福祉医療では病院・福祉等の「ボランティア」、「レクリエーション」等の活動において、今年も地域の方々との触れ合いを通して、地域住民や民生委員、地元NPOの方々から高い評価をいただいた。

これらの成果は、来年度、後輩たちが継承し、より高めてくれるものと確信している。

また、運動部の対外成績では女子バレーボール部が静岡県専門学校大会で頑張ったがリベンジならずの3年連続の**準優勝**。サッカー、野球部は県大会ベスト8進出。今年も頑張りました！

「海外研修・修学旅行」は専門学校静岡電子情報カレッジはICTメッカアメリカ西海岸シリコンバレーで、アップル、グーグル、インテル等をはじめとする世界有数の企業やカリフォルニア大学等を訪問し最先端テクノロジーに見聞を広めることが出来た。静岡福祉医療専門学校はハワイで異文化や伝統に触れ、国際的視点に立っての有意義な研修を積むことができ、貴重な体験をさせていただいた。必ずや今後のグローバル社会の中で大いに役立つ経験であり、日本の良さを強く感じ、友人との絆もより深まりよき思い出となったことだろう。

I was born. Keep alive. 「人は、生まれ、生かされている」、
「人は誰もが、無限の可能性を秘めている」ゆえに「日本人としてのアイデンティティを持ち、仕事を通して自己実現を図る」と職業教育を熱い心で教え、「人づくり60年」の生涯教育者であった本学園創設者中村忠雄学園長先生の教えを卒業後の社会生活の中でも活かし、「りっぱな日本人」になっていただきたい。

社会に出ても、本学の教えである、常に何事に対しても、日々「前向き」に、「**試行錯誤**」の中から「**自己実現**」を図り、「**これだけの事をやったんだ**」という「**自信**」と「**誇り**」を持って、君たちの時代を築いてください。

そして、たまには学校に寄って、近況報告を楽しみに待っています。それでは、健康には十分留意され、

君たちの新たなる旅立ちに、心より幸多きことを祈る！

Good Luck!
 教頭・教育部長 有賀 浩

卒業おめでとう！
 情報化が急伸び始め、パソコンが産声を上げていた頃。昭和60年に南町キャンパスにスタートした本学は今年30周年を迎えます。当時はパソコンだけで専門家として仕事ことができました。今、時代はIoE、IoTへ。家電もクルマもロボットも、何もかもがインターネットに常時接続。高度なシステムやサービスを誰もが簡単に利用できるようになりました。これからは新たな「**価値**」を創造しない限り、グローバル社会を生き抜くことはできません。

4月からプロフェッショナルとしての人生を歩み始める卒業生の皆さん。如何なる時代にあっても、本学の「**全人教育**」を通して身につけた、元気よく笑顔で心から湧き出す「**挨拶**」で、明るい未来を築き、そして幸せをも創造して行って下さい！

いつまでも夢を失わず、確かな信念と技術を人生の軸とし、校訓「**技術は力なり、我は我が道を行く**」、仕事を通して常に自己を成長させて行って下さい。

みなさんの笑顔に再会できる日を楽しみにしています！

学校法人 中村学園 裏面へ続く

進路室長 橋野 幸男

「“これまで”が“これからを”決めるのではなく、“これから”が“これまでを”決める」。理論物理学者・佐治晴夫先生の言葉です（あの惑星探査機「ボイジャー2号」にバッハ「プレリュード」の搭載を提案した方です）。

— よく、「過去・現在・未来」といいますね。この時間の流れから考えると、「これまで」が「これから」を決めると言うかもしれません。でも、いま皆さんが思い浮かべている過去は、脳の中にメモリとして残っているものに過ぎず、実在しているものではありません。とすると、これからどのように生きるかによって、過去の価値は、新しく塗り替えられることとなります。未来が過去を決める、「これから」が「これまで」を決めるのです。人生というのは、編集作業に似ています。素敵な物語を、美しい暦としてつくっていきたいですね—。

皆さんの母校での研鑽がどのように活かされ、そして、その母校がどのような「母港」として描かれるようになるのか、楽しみにしています。

**事務長 寺田 剛敏**

卒業おめでとうございます。2年あるいは3年前に皆さんは希望に胸を膨らませて本学の門をくぐりました。そして今、まさに卒業を迎えようとしています。皆さんが体験してきた最後の学生生活はいかがでしたか。私は、皆さんひとりひとりが思い描いていた生活を過ごすことができたことと確信しています。皆さんが学校生活で得た体験に何一つ無駄なことはありません。どんな些細なことであってもこれからの社会生活に必ず役にたつはず。社会生活は今までとはうってかわって厳しい試練が待ち受けていることと思いますが、本学で学んだこと、身につけたこと、そして多くの仲間たちがいることを支えに乗り越えて行ってください。

皆さんが大きく成長して、本学に顔を出してくれることを願ってやみません。

**ICT情報システム学科 2年担任 早崎 賢治**

イギリスの哲学者・論理学者・数学者、バートランド・ラッセルの言葉「幸福になるいちばん簡単な方法は、他人の幸せを願うことです」を贈ります。社会に出ると学生時代にくらべて他人と比較される機会が増えます。自分自身を他人と比較して「同期の中で自分だけ正統に評価されていない」とか「他の職場の友人と比較して自分は給料が安い」など、妬みの感情を持ってしまいがちです。嫉妬心が強いと「周りがみんな不幸になれば自分が幸せになれる」と思

い込んでしまいます。残念ながらこの思考パターンではどんなに努力しても不幸になってしまいます。幸せになりたかったら相手を幸せにするような行動をしてみてください。この時に見返りを求めないことがとても大切です。相手が幸せになっているのを見て自分も幸福を感じられるようになれば、とても素敵なお人になると思います。

ICT映像・音響デザイン学科 2年担任 鈴木 正章

皆さん、ご卒業誠にありがとうございます。社会に旅立つ皆さんにひとつ言葉を贈りたいと思います。「世界には、きみ以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め！」これは、ドイツの哲学者ニーチェの言葉です。これは、本学の校訓「技術は力なり、我は我が道を行く！」に通じるものがあります。ぜひ、社会に出て「自分にしか成しえない仕事」を見つけてください。その為には、常に挑戦あるのみです！皆さんの可能性は無限大です。これからの皆さんの大なる飛躍を期待しています。何年後か、美味しいお酒を酌み交わされるといいですね（笑）

**総合福祉学科 3年担任 磯野 博**

3TWの皆さん、ご卒業おめでとうございます。

「3年生になると本当に成長するね！」と先生方がよくいわれますが、今年度も学業や実習、そしてクラブ活動や地域活動において目覚ましい活躍をされました。とりわけ、男子バレーボール部と静岡県立こども病院ボランティア活動を復活させたことは、後輩たちにも引き継がれることでしょう。

皆さんが進まれる福祉・介護の世界は、社会から求められる意義深い仕事であり、地道に頑張れば必ず報われる仕事です。しかし、世間では、心ない介護職の不祥事などが大きく報じられており、皆さんも心を痛めておられることでしょう…。

そのような時こそ、本学の「校訓」や「建学の精神」を思い出してください。そして、この3年間の皆さんの最大の財産である「心の共」のことを思い出してください。必ず自らが進むべき道が見えてくるはずです。

「志と誠を持ちつづける者の未来は必ず拓かれる！」、これが私の50年余の人生の確信のひとつです。

それでも道に迷った際には母校に帰ってきてください。

わたしはここに居ることしかできませんが、皆さんを待っています。

皆さんの未来に幸あれ！

**介護福祉学科 2年担任 松浦 まり子**

みなさん、ご卒業おめでとうございます。

マザー・テレサは、人のために働き続けました。マザー・テレサは「いかにいい仕事をしたかよりも、どれだけ心を込めたかです」と言いました。「仕事」というものは、表舞台に立つ事ばかりではありません。特に介護は目立つことなく、人のために働きます。介護福祉士の「福祉」には“幸福”の意味があります。利用者様の幸せを目標に介護をする、つまり“どれだけ心を込めたか”が重要だと考えます。そしてもちろん、2年間伝え続けた「根拠」なくして、専門職としての介護は成立しません。

皆さんの学生生活での体験が、これからの人生の礎となり大きく羽ばたかれることを心よりお祈り申し上げます。

**子ども心理学科 3年担任 井上 充子**

ご卒業おめでとうございます。

三年間でひと回りもふた回りも成長された皆さん。学校での学びはもちろんですが、保育所・施設・幼稚園等での実習は皆さんを大きくステップアップさせたことと感じます。各実習の中で肌で感じた保育現場の厳しさ、楽しさ、やりがい。そこで貴重な体験をさせていただいた環境への感謝の気持ちを忘れないでください。経験が無いのですから未熟なのは当然のこと。しかしそれをカバーする前向きな意欲と学ぼうとする謙虚な気持ち。それに皆さんの笑顔が加われば無敵です。子ども達からももらった元気は、今度は子ども達に、同僚に、みんなが返していくことが出来るはず。笑顔の力は身を持って経験している皆さんですから。未来に向けて皆さんの活躍を楽しみに、心から応援しています。

**医療情報秘書科 2年担任 原 佐音美**

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

本学で過ごした2・3年間はいかがでしたか？入学当初の目標は達成する事は出来ましたか？検定取得、就職活動、卒業研究と大変なことが多くあったと思います。その中でも研修修学旅行など仲間との絆を深める事ができ、自分自身も成長できたのではないのでしょうか。学校では『社会に出るための準備』とよく言ってきました。これからがスタートです。新人らしく謙虚な気持ちを持ち積極的に仕事を覚えましょう。今まで以上の悩むことも多くあると思いますが、何度も壁を乗り越える精神力を身に付けてください。そして、周囲の仲間を大切に、周囲から信頼され、愛される社会人になってください。皆さんの益々の成長を応援しています。